



令和 8 年 年頭のごあいさつ

「選ばれるまち SASEBO」の実現に向けて

佐世保市長 宮島 大典

明けましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、健やかに令和 8 年の新春をお迎えのことと心より喜び申し上げます。日頃より市政運営に格別のご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、全国各地で大雨や地震などの自然災害が相次ぎ、物価高騰の影響も続くなど、私たちの生活を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。また、人口減少・少子高齢化や深刻化する労働力不足など、社会全体が大きな転換点を迎える一年でもありました。一方で、AI などのデジタル技術の急速な進展が、暮らしや行政サービスに新たな可能性をもたらしつつあります。このような社会環境のもと、市民の皆さまの温かいご支援とご協力によって、本市としても着実に歩みを進めることができました。

市政におきましては、市民の皆さまの暮らしを支えるため、さまざまな取り組みを進めました。子育て世代への支援では、中学校給食費の無償化の対象を市立中学校第 2 学年および義務教育学校第 8 学年まで拡大したほか、不妊に悩む方への支援として、市独自の特定治療に係る交通費助成を開始しました。高校生等福祉医療費については、償還払い

方式から現物給付方式へ移行するなど、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進めました。

4 月には、長崎県内で初めてとなる夜間学級を佐世保市立祇園中学校に開級し、学び直しの場としてだけではなく、不登校や不登校傾向にある生徒にとっての新たな選択肢として、学習の機会を提供することができました。

また、西海国立公園指定 70 周年記念事業や「ながさきピース文化祭 2025」「マイナビ ツール・ド・九州 2025 佐世保クリテリウム」などの開催によって、多くの市民や来訪者でにぎわい、本市の魅力発信と地域活性化につながりました。

さらに、本市の最重要課題である前畑弾薬庫の移転・返還について日米合同委員会で新たな合意に至ったことは、佐世保港のすみ分けにつながる大きな前進であり、今後のまちづくりを考える上で重要な節目となりました。

加えて、西九州自動車道の佐々 IC から佐世保中央 IC 間の 4 車線化が完成し、市内外の交通利便性と安全性の向上にも寄与しました。

令和 7 年はさまざまな課題と向き合いながら、着実な成果を積み重ねることができた一年となりました。



「マイナビ ツール・ド・九州 2025 佐世保クリテリウム」でテープカットを行う市長



ながさきピース文化祭 2025 の開会式出席に伴い本市を来訪された天皇后両陛下をお出迎えする市長

令和 8 年は、これまで積み重ねてきた政策・施策をさらに前へと進めるとともに、本市まちづくりの柱となる「第 7 次佐世保市総合計画（後期基本計画）」と、「子育て」「産業」「地域資源」「文化」を 4 つの柱とする「『選ばれるまち SASEBO』を創るシティブランディング・プロジェクト」の着実な推進を図るための検討を進め、取り組んでまいります。

まず、学校給食費の無償化の対象を市立中学校全学年に拡大するなど、全ての子どもたちが安心して学び、成長できる環境づくりを引き続き進めてまいります。

次に、令和 9 年に長崎国際大学で開設予定の理工系学部（情報学部）の設置を支援するとともに、産学官が連携して本市の将来の地域産業を担う人材の育成と地域社会のデジタル化を推進してまいります。

さらに、造船業を中心とする防衛関連産業の振興と基地を生かしたまちづくりに重点を置いた「佐世保市基地経済ビジョン（仮称）」の策定を進めます。これまで企業参入の障壁となってきた課題の解消に取り組むとともに、姉妹港としての関わりがある米国サンディエゴ市の取り組みなども参考にしながら、市内企業が力を発揮できる環境整備を図ってまいります。

そして、佐世保ならではの食文化を生かし、民間事業者との連携のもと、食をテーマとした取り組みを広げ、まちなかのにぎわいを創出してまいります。このほかにも地域資源を生かす取り組みとして、「半島地域の営みの維持」と「九十九島の景観の価値向上」を目指し、俵ヶ浦半島全体の自然観光公園化に向けたマスタープランの策定を、選定したパートナー事業者とともに進めてまいります。



車座集会「SASEBO 99 Talk M Café」で参加者の皆さんと意見交換をする市長

加えて、令和 8 年には、日本遺産「鎮守府・佐世保」と「日本磁器のふるさと肥前・三川内焼」の認定 10 周年、「させぼ立神近代化歴史公園」のオープン記念行事などを予定しています。これらの取り組みを通じ、本市の歴史と文化を生かした発信に取り組むことで、市外からの誘客促進につなげてまいります。

また、昨年開催された「ながさきピース文化祭 2025」や「マイナビ ツール・ド・九州 2025 佐世保クリテリウム」は、佐世保の価値を改めて示す大きなレガシー（将来に引き継ぐ財産）となりました。令和 8 年は、こうした成果をまちの活力向上へ確実ににつなげていく一年です。ことしの秋に開催が決定している「ツール・ド・九州 2026 佐世保クリテリウム」や、見事 J1 に昇格された V・ファーレン長崎との連携をさらに強化し、スポーツを通じたまちのにぎわいづくりに取り組んでまいります。

結びに、本年が市民の皆さまにとって、希望に満ちた一年となりますようお祈り申し上げますとともに、皆さまと力を合わせ、「選ばれるまち SASEBO」の実現に向けて、全力で取り組んでまいります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



車座集会「SASEBO 99 Talk M Café」



市長公式 YouTube NEWS M SASEBO



公式 YouTube のシリーズ「佐世保市長がやってみた」で子どもパークレンジャーに参加した市長